



上中だより

No.12 令和2年5月発行
横浜市立上飯田中学校
校長 山川伸二

令和2年度が始まりました！

5月も中旬になりました。いまだ「臨時休業」が継続される中、先週には39県において、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「緊急事態宣言」が解除され、神奈川県、横浜市でも今週にはあらたな動きが出されるとお思います。この2カ月間、先の見通しがたたない状況での「臨時休業」では、皆さんも、そして保護者の方も不安と心配の毎日だったとお思います。学校としては、家庭訪問や電話連絡、そしてホームページでの先生からのメッセージや学習課題提示等の情報提供と、できる限りの支援に心がけましたが、安心や安全がどこまで図られたのか、申し訳なかったとの思いでいっぱいです。しかし、いよいよ「学校再開」が現実的になってきたようにお思います。もう少しの辛抱です。期待、そして前向きな気持ちを大切にして、あと数週間の家庭での生活を頑張りたいですね。新緑の若葉がさわやかさとともに、そんな願いを支えてくれているような気がします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて

「生命」の大切さを第一に、一人ひとりが今できることを

「緊急事態宣言」が発出され、人との接触を避け、行動自粛がすべての人々に課せられた中、「臨時休業」が継続され、自宅での生活が余儀なくされました。誰もが初めての経験であり、感染への不安や恐怖もあって、ほとんどの皆さんが意識を高く持って、行動できたと信じています。入学式、始業式の際に、全員に伝えましたが、今回の「臨時休業」は自らの、そして仲間の「生命を守る」ことであり、最も大切にとらえて行動すべきことです。あらためて、この数か月間を考え、自分が現状の厳しさをしっかり受け止め、とるべき行動がとれたかどうかをきちんと振り返ってほしいとお思います。生命の尊さを第一に、今どう行動すべきかがしっかり判断できる一人ひとりであってほしいと強く願います。新規感染者数がかなり減少してきました。各自の行動がいかに全体を支えているか、決して忘れてはいけないことだとお思います。

長期化する「臨時休業」を、前向きに乗り越え、有意義なものに

5月11日(月)には、「分散登校」を実施し、副教材や今後の学習課題等を配布しつつ、皆さんと直接会って話ができ、「休業」をより有意義な、安全なものとする、効果的な機会になったとお思います。「元気です。」「学習頑張っています。」等、笑顔で話す皆さんに会うことがで

きて、本当に大事な機会になりました。感染への不安もあったと思います。学校としても様々な配慮はしましたが、登校に関して理解と協力をしてもらい、感謝します。まだまだ「休業」は続きます。規則正しい生活リズム、計画的な取組こそが必要です。大人ですら難しいかもしれません。だからこそ、皆さん一人ひとりが自覚し、行動することが大切です。朝きちんと起きること、毎日短い時間でも学習すること、さらには家の中で適度な運動に心がけることだと思います。その中で、自分はやった、できた、頑張ったと思えることを一つひとつ積み重ねていくことが重要です。「前向きさ」は自らの行動が支えとなります。このような厳しい状況だからこそ、小さな前向きさを自分が作り出し、有意義な日々とするよう、努力したいですね。もう少し、頑張りを継続しましょう。必ずやこの厳しさにも終わりが見えてくるはずです。信じて今を大切に生活したいと思えます。しかし、不安や心配があつて当然です。どうしても困ったときには、保護者の方や学校の先生に相談しましょう。

「学校再開」を願って、着実に準備を進めましょう！

今週の21日には、39県に続いて、「緊急事態宣言」が延長されている、神奈川県を含む8都道府県においても解除の可能性を持った「今後の方向性」が明確になるようです。また、解除された県では、「学校再開」が始まり、「コロナとの共生」「新しい生活様式」等の言葉に象徴されるような、次のステップへの移行が確実に進められるようになりました。まさに「出口が見えない」今までは違い、わずかですが、今後の明るい見通しが見えてきた気がします。6月からの「学校再開」が現実的になってきたように思います。仲間や先生と会える、学校生活（授業）が始まる、期待に胸が膨らみます。そのためにも、お互いに確実な準備を進めたいと思えます。継続的な学習はもちろん、何より生活をきちんとすることです。朝起きて食事をすることから意識しましょう。再スタートを、自分や仲間にとって素晴らしいものにするために、今必要なことに努力できる皆さんであってほしいと願っています。詳しい情報を5月25日にはホームページにアップします。今週から来週にかけては、かなり意識をもって確認してください。よろしくお願ひします。

れいわ ねんど にゆうがくしき しぎょうしき 令和2年度 「入学式」・「始業式」

新入生にとって、中学校生活のスタートを迎える、記念すべき、大切な「入学式」が4月6日に挙行されました。今年は、感染拡大予防を第一に「生命」を守るため、皆さんと先生方、そしてPTA会長様のみのお出席で行いました。皆さん、そして保護者の方には大変申し訳なかったと思えます。しかし、そのような状況にもかかわらず、皆さんの明るい笑顔と緊張感ある姿勢には、これから始まる中学校生活への期待と希望、そして高い意欲が感じられ、素晴らしい

い式しきだったとおもいます。一生いっしょうに一度いちどの入学式にゅうがくしき、しかも今後こんご二度にどとないだらうじょうきよう状況なかの中での入学式にゅうがくしき、厳しい状況きびしじょうきようだったからこそ、きっと皆さんの心こころには確実にかくじつ刻まれ、今後こんご良い思い出おぼとして生きていくことでしょう。あの時の「意欲」いよくを大切たいせつにして、再開後の学校生活がっこうせいかつにつなげ、大きくおほ育ててほしいと心こころから願ねがっています。

また、2、3年生ねんせいについても、翌7日よくなのかに始業式しぎようしきを実施じっししました。感染拡大かんせんかくだいへの予防よぼうを考慮こうりよし、確実かくじつな健康観察けんこうかんさつ（検温けんおんの確認等かくにんとう）を行おこない、「校庭での始業式こうてい」となりました。皆さんの新年度しんねんどを迎えむかえる新たな思いあらたなおも（決意けつい）、そして現状げんじょうを踏まえた「生命」いのちの尊とうとさを受け止める真剣さしんけんが感かんじられる、良いスタートとなりました。その後、休業継続きゅうぎけいぞくとなり、大変残念たいへんざんねんでしたが、自分の目標じぶんを常つねに心こころに留め、1日1日いちにちを有意義ゆういぎに過すごしてほしいとおもいます。

いま感染拡大防止かんせんかくだいぼうしに向けて自みずからの生命いのちをかけて、多くの人々ひとびとのために日々ひび一生懸命いっしょうけんめい取り組んでいくる、医療従事者いりようじゅうじやの方々かたがたや福祉ふくしに携たずさわる方々等かたがたとうがいます。皆さんには、自分の目の前みまへの人の思いおもいや努力どりよくをきちんと受け止められる人ひとになってほしいとおもいます。そして、人の痛みひとを自分のことこととしてとらえ、行動こうどうできる人ひとになることを願ねがっています。



入学式・始業式の様子です。

「令和2年度 上飯田中学校 セクシャル・ハラスメント相談窓口について」

本年度も「セクシャル・ハラスメント(性的嫌がらせ)」の生徒相談窓口を開設し、次の職員が担当しています。日頃から生徒への教育相談活動の充実を図りますが、特に、性的な嫌がらせなどの相談しにくい内容や、さまざまな悩みに応じられるよう担当します。また、教育総合相談センター(TEL 671-3726~8)の一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できますので、お知らせします。

生徒には学級活動等の時間を利用して、セクシャル・ハラスメントについて「しない・させない・ゆるさない」の観点から担任より指導し、相談窓口についても周知を図りますので、よろしく願います。

《担当職員》 金子 由美子(養護教諭) 鈴木 善正(生徒指導専任)

この4月に着任しました、校長の山川です。現状では直接話をする機会もなく、大変申し訳ありませんでした。職員とともに協力し、多様性を認め、高め合える学校づくりに一生懸命取り組みたいと思いますので、よろしく願います。本年度は、なかなか先が見通せない、本当に厳しい状況ですが、ぜひ子どもたちをあたたく見守り、支援していただくことが最も大切だと思います。子どもたちは必ず今回の状況を乗り越え、大きく成長できると信じていますので、ご理解とご協力を重ねて願います。

【 学校教育目標 】 ダイバーシティ DIVERSITY上飯田中 《多様性》

か のうせい【知】
 み とめあい【徳・公】
 い ぶんか【公・開】
 い のち【体・徳】
 た くましく【体・徳】

《 具体的な目標 》

知：基礎・基本の定着を図るため、自らがつまづきに気づき、その課題解決に取り組むことにより、学ぶことの大切さや喜びを感じながら、あきらめないねばり強い子どもを育てます。
 徳：物事を正しく判断し、責任ある行動をとり、人と人の心のふれあいをとおして、個をみつめ、自他ともに大切にすることを育てます。
 体：生命を尊重し、自ら心と身体を健やかに育み、基本的な生活習慣を身につけるとともに、自然を愛する心と、健康と安全について考え実践できる子どもを育てます。
 公：横濱を見つめ、かかわり、「まち」を愛し「まち」とともに歩み、そして地域の一員として、協力しあってよりよい集団や社会を築こうとする子どもを育てます。
 開：日本の文化や伝統を大切にするとともに、広い視野をもち、異なる文化を互いに認め合い、人と人のつながりを大切にできる子どもを育てます。